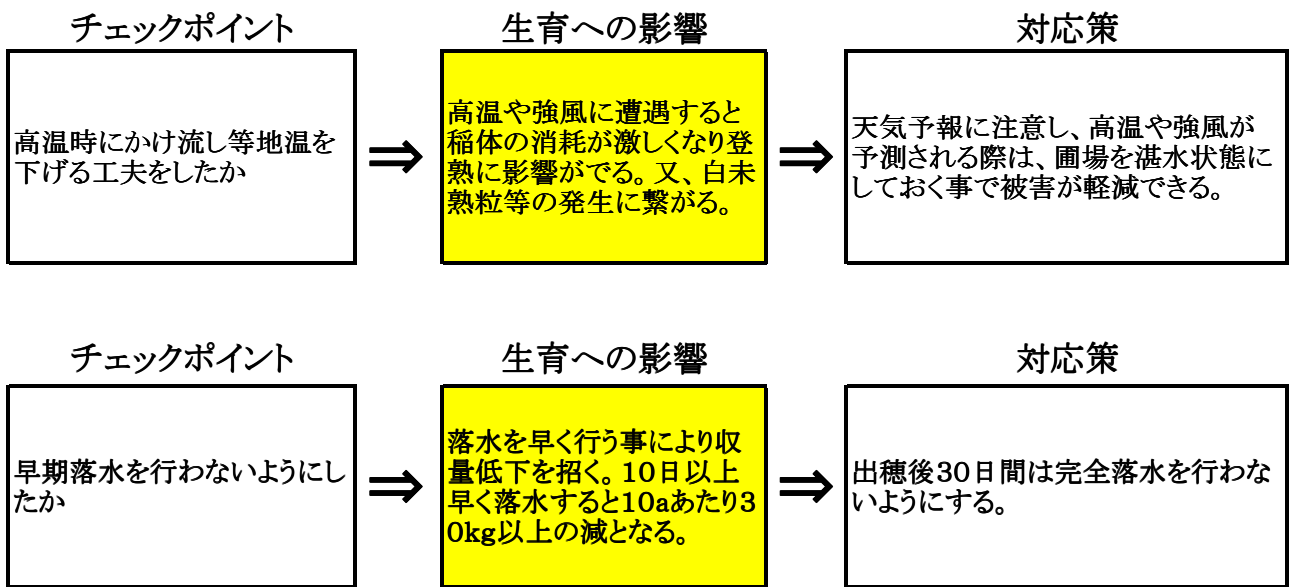


単収確保に向けて 《第10弾》

早期落水は避け 適切な水管理を実施しよう！

8月20日の管内の生育調査データによると、平年と比べて穂数が多くなっており、m²当たりの粒数も多くなっております。出穂期については、管内平均で平年より3~4日早まっております。また、平年と比べて出穂後の日照時間が多く、気温も高くなっていることから、刈取時期についても若干早まると考えられるため、刈遅れのないように事前準備をお願いします。

◎今後の管理についてのチェックポイント



○今後の水管理について

- ・今後の水管理については間断かん水(2日湛水、3日落水)を行い、活力維持して下さい。
- ・今年は、高温の日が多くなっていることから、白未熟粒の発生を軽減するために、可能な圃場ではかけ流し等の対応を行いましょ。
- ・高温、強風(フェーン)時には可能な限り湛水状態として下さい。

単収確保に向けた重点実施事項

チェックポイントを点検し
該当する対応策を実施しましょう。